臼式お茶粉末器

ティープル L-500

取扱説明書

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
とくに**「安全に使用していただくための注意」**はかならずお読みください。
お読みになった後は、大切に保管し取扱いがわからないとき再読してください。

もくじ

株式会社ジャテックス
JATECX

安全に使用していただくためのご注意

ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

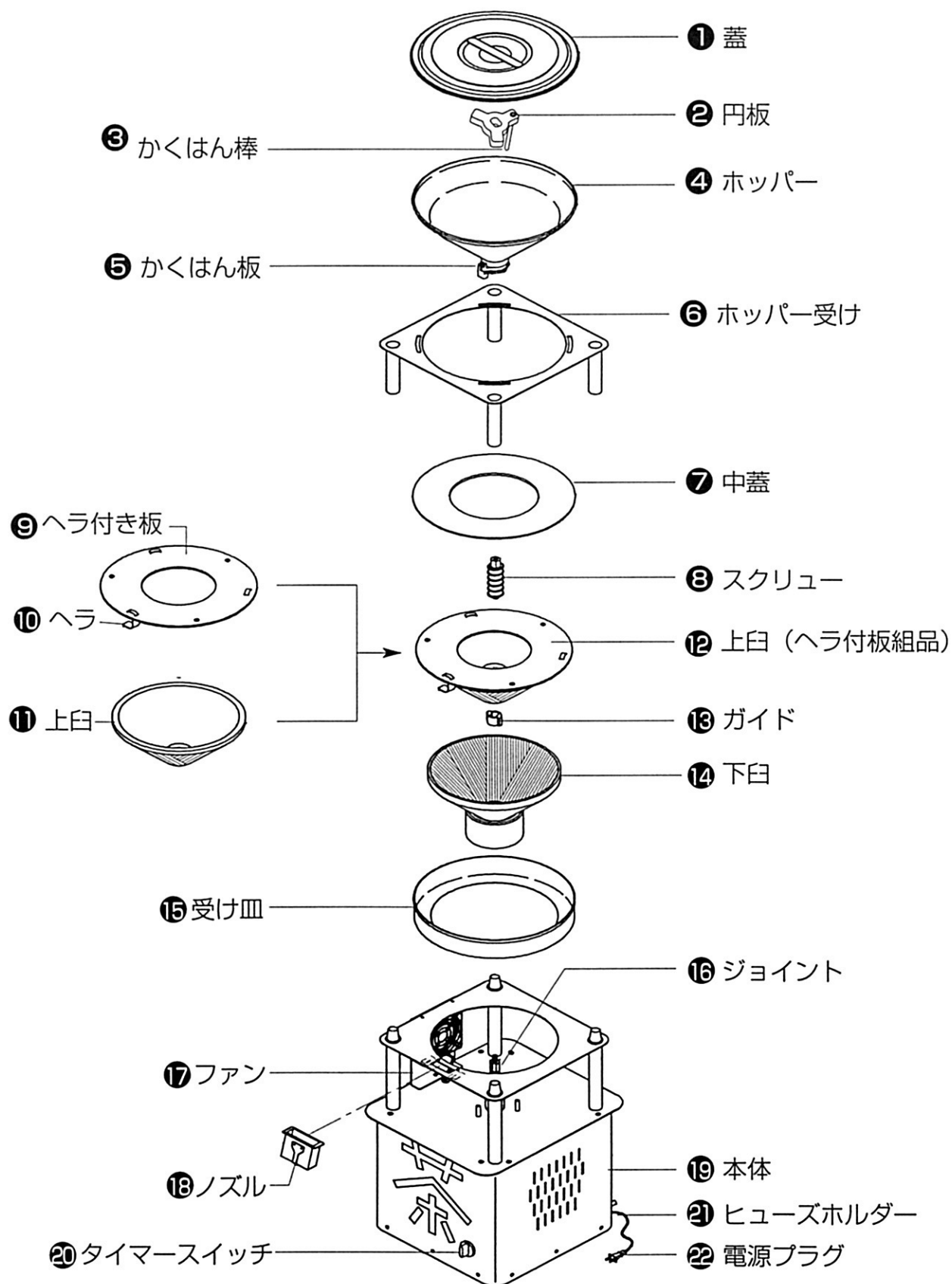
表示の例：　この絵表示は、してはいけない**「禁止」**内容を伝えるものです。

警告		・本体を水につけたり、水洗いしないでください。 （ショート、感電の恐れがあります。）
		・アースは第三種接地工事を行ってあるか確認してください。 （感電する恐れがあります。） ・工事が行われていない場合は、お近くの工事店に依頼してください。
		・運転中にふたを開けて容器の中へ手、指、スプーン、はし等を入れないでください。 （ケガをする恐れがあります。）
		・タイマースイッチの「切」を確かめ臼の回転が完全に止まるまで、電源プラグのコンセントからの抜き差しはやめてください。 （ケガをする恐れがあります。）
		・お手入れ前には、電源プラグを抜いてください。 （感電の恐れがあります。）

警告		・部品を取り外した状態で運転しないでください。 （ケガをする恐れがあります。）
		・ファンに指、細い棒等を入れないでください。 （ケガをする恐れがあります。）
		・取り外し可能な本体パーツ以外の分解、修理、改造は行わないでください。 （火災や感電の恐れがあります。）
		・タイマースイッチのつまみは回転します。ものに引っかけ止まらないように注意してください。 タイマースイッチは「切」にならないと止まりません。 （火災の恐れがあります。）
		・タイマースイッチ部分に強い衝撃を加えないでください。 正常に動作しなくなる可能性があります。 （火災の恐れがあります。）
		・コードを乱暴に扱わないでください。 ・ガタついたコンセントを使用しないでください。 ・電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。 （火災の恐れがあります。）
注意		・不安定なところで使用しないでください。 （倒れたり落下、破損してケガをする恐れがあります。）
		・火気の近くで使用しないでください。 （火災の恐れがあります。） ・屋外で使用しないで下さい。 （故障の原因になります。）
		・使用直後の臼（特に上臼）は熱くなっている恐れがあります。臼を持ち運ぶ場合は、一度手で　触れてみて、温度を確認してから、持ってください。

各部の名前

各部品名称

❶ 蓋
❷ 円板
❸ かくはん棒
❹ ホッパー
❺ かくはん板
❻ ホッパー受け
❼ 中蓋
❾ヘラ付き板
❽ スクリュー
❿ ヘラ
⓬ 上臼（ヘラ付板組品）
⓫ 上臼
⓭ ガイド
⓮ 下臼
⓯受け皿
⓰ ジョイント
⓱ファン
⓲ノズル
⓳ 本体
㉑ ヒューズホルダー
⓴タイマースイッチ
㉒ 電源プラグ

仕　様・性　能

仕　様

項　目	内　容
電　源	交流１００Ｖ　５０／６０Hz
定格消費電力	２００／２１０W
定 格 時 間	６０分
電源コード	有効長さ１．８ｍ　アース付
安 全 装 置	過電流ヒューズ
回 転 数	１００／１２０rpm　５０／６０Hz（無負荷時）
茶葉供給方法	スクリューフィーダによる定量供給
周囲使用温度範囲	０～３０℃
周囲使用湿度範囲	相対湿度４５～８５％、ただし結露しないこと
製 品 寸 法	幅３３０mm　奥行３６３mm　高さ６１８mm
製 品 質 量	３０kg
付 属 品	ハケ、容器（スプーン付）

性　能

茶 の 種 類	性　能	
	１００μm以下構成比	お茶すり量／６０分
煎　茶	５５％以上	約５００g
深蒸し茶	６０％以上	約５００g
て ん 茶	８０％以上	約１２０g

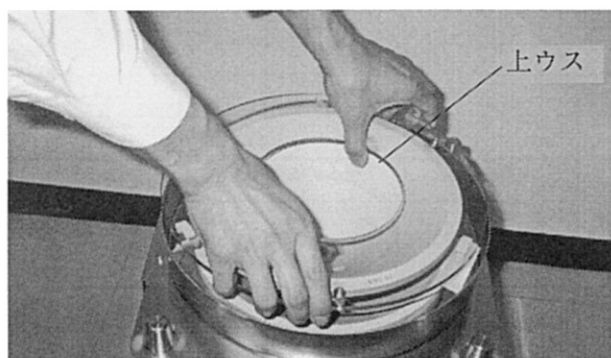
表中の数値はあくまで当社試験による代表値であり，保証値ではありません。

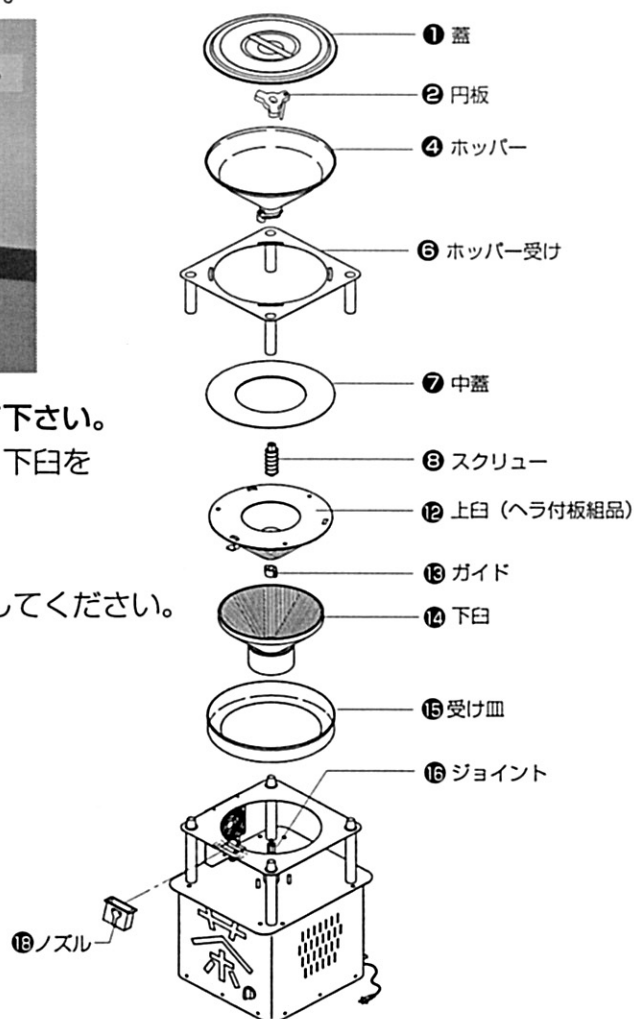
分解方法

・お手入れのため分解する場合、各部品は重量があるため、注意して取り扱い下さい。また臼はセラミックスでできていますが、衝撃には弱いため、落とすと割れたり欠けたりしてケガをする可能性がありますのでご注意ください。

・ホッパー内に茶葉が残っている状態では、ホッパーを取り外す事ができません。ホッパー内の茶葉をすりきって中を空にしてください。
（手順についてはお手入れ方法の「ホッパー」の項をご参照ください。）

分解方法

1 ❶蓋を外し、❷円板をはずしてください。
2 ❹ホッパーを❽スクリューから抜いてください。
3 ❻ホッパー受けと❼中蓋をはずしてください。
4 ❽スクリューはネジ式になっていますので反時計回りに回しながらはずしてください。
5 ⓬上臼（へら付板組品）をはずしてください。写真のようにへら付板を両手で持って上臼（へら付板組品）をはずしてください。

※この時、上臼の落下に十分ご注意して下さい。

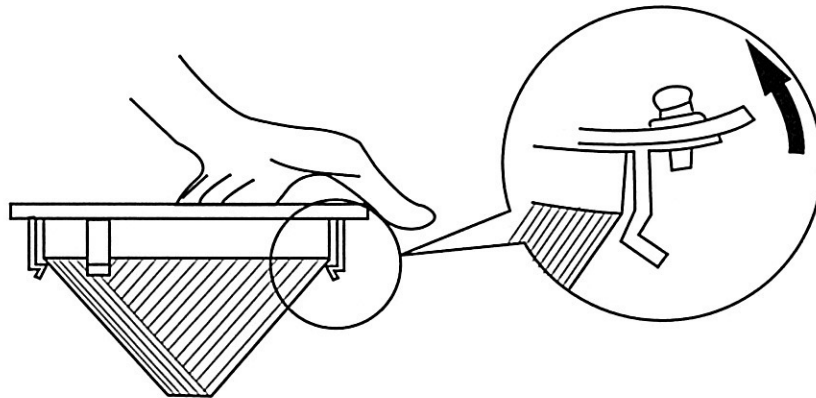
6 ⓭ガイドを⓰ジョイントから抜き、⓮下臼を両手で持ってはずしてください。
7 ⓯受け皿をはずしてください。
8 ⓲ノズルを前方にスライドさせてはずしてください。

お手入れ

お手入れ方法

ホッパー

1）上蓋を取り、円板の上にある茶葉をハケで落とします。
2）円板を上方向にはずします。
3）付着している茶葉をハケでスクリューの下部に掃き入れます。
4）蓋をして、電源プラグをコンセントに差し込み、1目盛り（約5分）動作させすりきります。

臼

1）へら付板の取り外し
へら付板と上臼は組品ですので、通常のお手入れ時には分解しないで下さい、
汚れがひどい場合は、下図のように矢印に引き上げて分解して下さい。
※ネジは分解用ではありません。ネジを回して分解しないで下さい。

2）臼のミゾ掃除
臼内部に残った茶葉を取り出し、目に詰まっている細かい茶葉を、ブラシ等で取り除きます。（通常はこの作業で十分です。）
長い間使わなかった場合には、うすめた中性洗剤にて洗浄し、十分にすすいで常温にて完全に乾燥してください。

円板、スクリュー、ガイド、ノズル等プラスチック部品

茶粉を柔らかいブラシ、ハケ等で取り除いて下さい。（通常はこの作業で十分です。）
茶粉がこびりついている場合は、ぬるま湯に浸していただくと茶葉がふやけ、洗いやすくなります。
また洗浄する場合は、うすめた中性洗剤を使用し、十分にすすいで常温にて完全に乾燥してください。

蓋、かくはん棒、ホッパー、ホッパー受け等金属部品

通常はわずかに湿った柔らかい布で拭き掃除してください。取り外せる部品については、うすめた中性洗剤にて洗浄し、十分にすすいで常温にて完全に乾燥してください。

本体

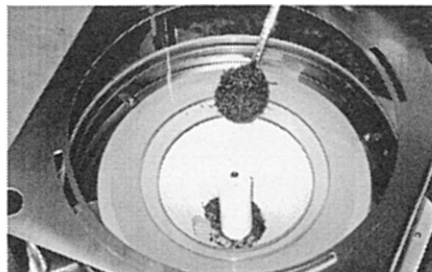
通常はわずかに湿った柔らかい布で拭き掃除してください。
（ベンジン等有機溶剤は絶対に使用しないでください。）

ご使用方法

ご使用前にコンセントの近くにアース端子があることをご確認ください。

1 ⑳ タイマースイッチが「切／0」になっていることを確認してください。

2 使い始めや清掃後のご使用時に限り、空すり防止のため❶ 蓋❷ 円板❹ ホッパーをはずして、上ウス内に茶葉を約10グラム（付属のスプーン一杯）を直接投入してください。

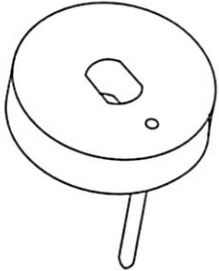
3 ❹ ホッパー❷ 円板❶ 蓋を取り付けます。

4 ❶ 蓋をあけて、茶葉を❹ ホッパーに投入します。１回の投入量は煎茶で５００ｇ以内にしてください。

5 粉砕された茶粉を入れる付属の容器を用意してください。容器は本体の⑱ ノズルの真下にセットしてください。
袋を使用する場合は、下図のように⑱ ノズルに袋を取り付けてください。

（茶葉は粉砕すると容積が減ります。およそ 3分の1以下になります。）

6 アースが取れている事を確認してから㉒ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

7 ⑳ タイマースイッチを茶葉の量にあわせてセットし運転してください。
約２分後に⑱ ノズルより粉末が出始めます。
付属容器の中央部で粉末が山のように溜まっていきます。そのまま粉砕を続けるとノズルが粉末で詰まってしまいますので、付属容器を軽く叩いて粉末の山を崩して下さい。

8 ⑳ タイマースイッチが「切／0」になりましたら、容器または袋を取り外してください。

〈煎茶の場合の目安〉

投入量	タイマースイッチの位置
100g	15
200g	30
300g	45
400g	60
500g	60

※連続でご使用いただく場合は、**4** より繰り返してご使用下さい。

お茶すり量と細かさの調整

❷円板を取り替えることによりお茶すり量と粒度を調整することができます。

❷ 円板形状	標準品 三角型	付属品 丸型
お茶すり量※	多　い	少ない
細　か　さ※	細かい	より細かい

※茶葉の種類により変わります。

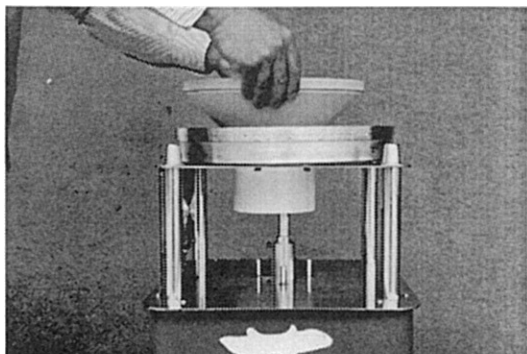
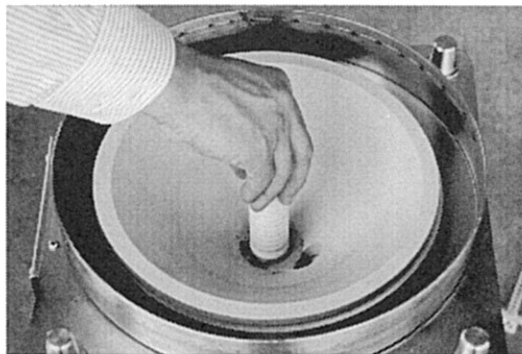
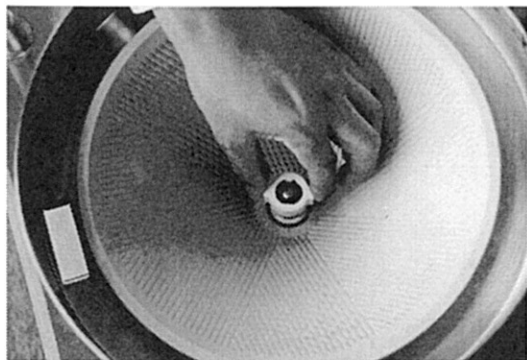
組み立て方法

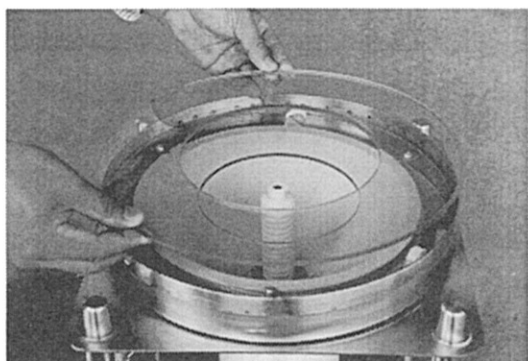
組み立てる前に、コンセントから電源プラグが抜かれている事を確認してください。
また、重量のある部品については落とさないように気を付けてください。特に臼は割れたり欠けたりしやすいため、取り扱いには注意してください。

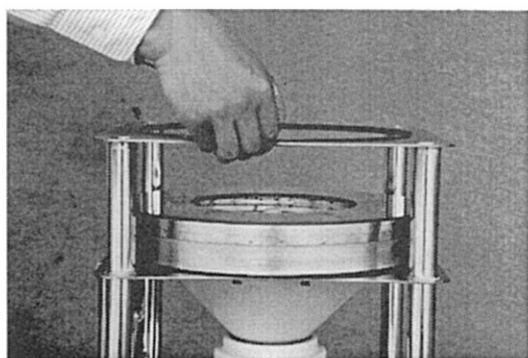
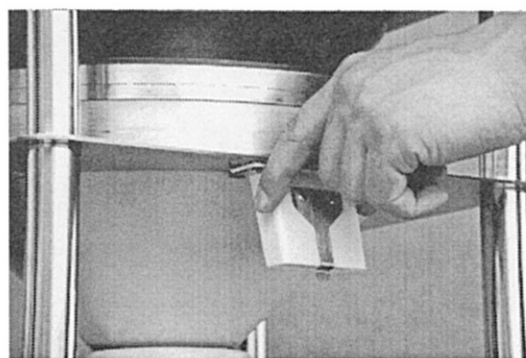
1 ⑮受け皿を⑲本体に取り付けます。この時，⑮受け皿の穴と⑲本体の穴が合うようにします。

2 ⑭下臼を，⑯ジョイントに差し込みながら⑲本体にセットします。この時⑭下臼を回転させて⑮受け皿との隙間がなくなる様に⑭下臼を落とし込みます。

3 ⑬ガイドを⑯ジョイントに差し込みます。

4 ⑫上臼（へら付板組品）の底部と⑬ガイドの形をあわせて，⑫上臼を⑯ジョイントに差し込みます。

5 ❽スクリューを⑯ジョイントにしっかりと締め付けます。（❽スクリューが回らなくなるまで締め付けてください。）

7 ❼ 中蓋を ⓯ 受け皿にのせます。

8 ❻ ホッパー受けを ⓳ 本体上部の凸部にはめ込みます。

9 ❹ ホッパーを ❽ スクリューに差し込みます。（❻ ホッパー受けの合わせ穴にはめます。）

10 ❷ 円板（かくはん棒付）を ❽ スクリューにはめ、❶ 蓋を閉めてください。

11 ⓲ ノズルを本体にスライドさせながら差し込んでください。

ヒューズの交換

●ヒューズが切れる主な原因

モーターなどに異常な力がかかった時、モーター及び電気回路を守るためにヒューズが切れます。下記の使い方をするとヒューズが切れることがあります。

- **粉砕できないモノを誤って投入**しモーターなどに異常な力がかかった時。
- **誤った組立**をして作動させモーターなどに異常な力がかかった時。

●ヒューズが切れた場合は・・・

(1) タイマースイッチを切／0に位置に戻し、電源プラグを抜いてください。
(2) 粉砕できないモノを誤投入した時は、分解方法（5ページ）を参考にして異物を取り除いてください。組立方法が間違っていた場合は、組立方法（8ページ）を参考にして正しく組立してください。
(3) 下記のヒューズの交換方法を参考にして交換します。

●ヒューズの交換方法

(1) ㉑ヒューズホルダーは本体裏側電源コード口の上部にあります。
(2) ㉑ヒューズホルダーをプラスドライバーにて矢印の方向に回して取り出します。
(3) ㉑ヒューズホルダーからヒューズ管を抜いて新しいヒューズ管に取り替えます。
(4) ㉑ヒューズホルダーを軽く押しつけながらプラスドライバーにて矢印の逆方向にまわして本体にセットします。

ヒューズの種類 ：ＦＵＪＩ端子製ＦＧＢＯ　２５０Ｖ６Ａ

Q & A

Q すれるお茶の種類は？

A 本器は緑茶専用です。緑茶以外の玄米茶や他の食材（コーヒー豆、ゴマ、煮干し、大豆など）には使用できません。粉砕可能なお茶は、煎茶、玉露、てん茶、芽茶です。尚、茶葉が極端に太いものや長いものを粉砕しますと、粉末が粗くなったり、する時間がかかります。
又、細かい茶葉（芽茶・粉茶など）は、煎茶の場合より粉末が若干粗くなります。

Q 茶葉を投入したがお茶の粉末が出てこない？

A 使いはじめや清掃後のご使用時には臼粉砕の構造上お茶の粉末が出始めるまでしばらく時間がかかります。

Q 投入した茶葉の量よりすりあがったお茶の粉末の量が少ない？

A 構造上、上臼穴に入りきらない茶葉が若干量残ります。また、初期運転時や清掃後のご使用時に臼粉砕の構造上、お茶の粉末が臼内部（臼のミゾ部）に若干量残ります。

Q スイッチを入れたら「キーキー」という耳障りな動作音がする？

A 使いはじめや清掃後のご使用時に限り、臼が空すり状態になり耳障りな動作音がする場合がありますが、茶葉を粉砕しだすとなくなりますので異常ではありません。

Q 清掃は毎回するの？

A 毎回は必要ありませんが５日間以上ご使用されない場合は、臼内部のお茶の粉末が酸化変色することがありますので分解清掃をしてください。

Q すった粉末の保存方法は？

A 粉末は酸化しやすいので、密封容器に入れ冷蔵庫で保存することをおすすめします。ただし、外気と冷蔵庫との温度差が激しい夏などは結露しやすいので、一度常温に戻してから開封するなどの注意が必要です。

ご使用中に異常が生じたときは

症状	原因	処置
お茶の粉末が出ないとき	茶葉を入れる量が少ない。	茶葉を追加してください。
	茶葉が湿っている。	お手入れ方法にならって臼の清掃をして、よく乾燥した後、再度乾燥した茶葉を入れてください。
	受け皿の穴が本体の穴にあってない。	組み立て方法にならって受け皿の穴を正しく本体の穴に合わせてください。
	上臼が回転し、コゲ臭いにおいがしてきた。	ご使用方法2にならって上臼に直接茶葉を投入してください。
	上臼が回転していない。	電源プラグをコンセントに入れてください。
		タイマースイッチのつまみが「切」になっている時はタイマースイッチを右に回してください。
		部品である⑬ガイドがついていないので組み立て方法にならって取り付けてください。
	ヘラ付板が上臼にセットされていない。	ヘラ付板を上臼にセットして上臼とともに回転しているか確認して下さい。
	このお茶粉末器は茶葉を入れて運転（臼が回転を始めて）後約2分でお茶の粉末が出始めます。	
粉末が出たとき粗いお茶の	上臼の締め付けが足りない。	組み立て方法にならってスクリューで上臼を締め付けてください。
	茶葉の中に異物が入っている。	お手入れ方法にならって分解し異物を取り出してください。
いつもと違う異常なうなり音がする時。使用中にモータの回転が止まったり、	茶葉以外の物が入れてある。	お茶以外は粉末にできません。お手入れ方法にならって分解し異物を取り出してください。
	茶葉が湿っている。	臼の目に湿った粉が詰まります。お手入れ方法にならって分解し清掃してよく乾燥させてください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズ交換（10ページ）にならってヒューズの交換をしてください。

以上の点検をしてもモーターが動かないか、異常なうなり音がする時は事故防止のためご自分での修理をやめて、お客様相談窓口にお問い合わせください。

[アフターサービス]

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店か(株)ジャテックスお客様相談窓口（通話料無料／0120-883784）にお問い合わせください。●保証期間はお買い求めの日から1年間です。なお保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。●保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理致します。●本器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。

アフターサービス

保証について

１．ティープルＬ－５００には保証書がついています。
　保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
２．保証期間はお買い上げの日から１年間です。
　保証書の記載内容により修理いたします。
　（保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。）
３．保証期間後の修理について
　販売店または当社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるとき

１．12ページ「ご使用中に異常が生じたときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
２．それでも異常があるときは、使用をやめて、お買い上げの販売店または当社に次のことをご連絡のうえ、修理をお申しつけください。

品　　名　：　ティープルＬ－５００
故障の状態　：　できるだけ詳しく

⚠ ご自分での修理はしないでください。大変危険です。

補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後５年間保有しております。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせは

アフターサービスについてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

株式会社　ジャテックス

〒457-0832　名古屋市南区浜中町１－14　TEL052-614-7300

お客様窓口

フリーダイアル　0120-883784
（月～金 AM9:00～PM5:00）